

(10) 嬉野市の情報提供は、「クリエイティブ（創造）」です。

① 嬉野市情報提供の2つのねらい

ア 学校理解のための情報提供の創造

学校関係者評価を行うには、その材料となる評価内容に係る情報提供が前提となる。適切な内容・適度な情報量をいかに提供するかが鍵を握る。

イ 保護者・地域の方々の学校参画の創造

地域の教育力を生かすために、保護者・地域の方々に学校へ来ていただく、そして、もう一歩進んで学校からも出て行くことが重要である。

② 情報提供の方策（双方向）

ア 直接対話

P T A 総会、学校行事等の際に直接話して提供する。

イ 学校だより（意見欄を設け、日頃から意見をいただく）

地区回覧も含めて、保護者、地域の方々への情報発信を定期的に行う。

ウ 携帯メール配信

迅速な情報発信、緊急時の発信、行事の確認発信、がんばりメール発信などを行う。賛同される保護者へEメールや無料携帯メールで提供する。

エ ホームページ掲載

容量の大きな写真や動画などを効果的に情報発信できる。より臨場感溢れる内容が掲載でき、双方向のメールによる情報交換も容易である。

オ マスコミ（新聞、テレビ局）、地区ケーブルテレビ

メディアを利用した情報発信は、より訴える力がある。さらに地区内外の学校等への普及、学校評価等の効果が期待できる。

③ 学校参画の方策（学校へ呼び込む・学校から出て行く）

ア 地域の人材活用と地域への児童生徒派遣

地域の専門家、保護者等に学校へ日常的に来ていただくように学校を開く。また、幼稚園、保育所、小学校、高齢者養護施設等へ出向いて行くように学校を開く。

イ 学校行事への勧誘

運動会、体育大会、水泳大会、マラソン大会、文化祭、合唱コンクール、校内弁論大会等の学校行事へ、自然に人が集まるように宣伝し勧誘する。

ウ 小中合同開催

学校規模に応じて、運動会・体育大会、水泳大会、合唱コンクール、英語暗唱大会などの合同開催をして、案内を出して地域も巻き込む。

エ 小中P T A方針合併

小中9年間のスパンでの教育と同様に、P T A活動も小中一貫した方針で進めることも効果的である。

オ 地域との合同開催

伝承芸能祭、各種体育行事、ボランティア活動、趣味の活動などを合同開催する。

